



KOBE FA TRAINING CENTER STAFF COACHING SCHOOL

2003年度トレセンスタッフ・コーチングスクール <Vo1.7>

(2004. 1. 9)

COEVER COACHING/クロスオーバープレーの改善(中1)

今回は前半にCOEVER COACHING JAPAN クーバー・コーチング・サッカースクール神戸校、SCHOOL MASTERの前原誠治氏を招き、ボールマスタードリルの照会を1時間程度していただき、後半は中1の指導者が「クロスオーバーからの改善」のテーマに指導実践を行われました。

今回のディスカッション

1. 『必ず両足で!』・『意識をさせる』・『STEP by STEPの練習法が大切』
(クーバー・コーチング・サッカースクール神戸校 前原誠治氏)
2. フリーズするときは神経を使い、的確なフリーズを。
3. セッティング・オーガナイズの重要性。
4. STEP by STEP、段階的・発展的な練習法。

【参加指導者：約30名】

==== ちょっと参加者の感想を ====

『必ず両足で!』・『意識をさせる』・『STEP by STEPの練習法が大切』

これはほんま、大切なことやと思います!!

頭ではわかっているけど、いざ練習になると・・・

強制的に両足つかわなあかん練習法!! 使うことによって意識ができる!!

それをいかに発展させていくかがコーチの腕やね。

ただ単にゲームするのではなく、今から3分間は左足!! とかってなこともしてみたらいいかも

※日本サッカー協会では最近少年期の神経系の刺激に、クーバーコーチング法を紹介しています。
一度指導者のみなさんもオープンマインドで体験してみてください。



【 i n f o 】

※会場に来てスクールに参加されれば、昌子強化部長の
こんな指導案ももらえます。

是非、みなさんも参加してください。
